

《まちライブラリー》の魅力 思いもよらない 本や人との出会いの場

まちライブラリー@ちとせ
マネージャー
ふるや あや
古谷 綾 さん

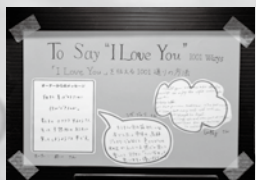


長野県松本市出身。大学卒業後、千歳市に移住し、江別市セラミックアートセンターで学芸員として勤務。2018年から《まちライブラリー@千歳タウンプラザ》でサブマネージャーを務め、現職に至る。

《本を通して人と出会うま
ちの図書館》をコンセプトに
全国約900か所に設置され
ている《まちライブラリー》。
2022年1月にJR千歳駅
東口のビル1階に新しくオー
プンした《まちライブラリー
@ちとせ》でマネージャーを
務める古谷綾さんに《まち
ライブラリー》の魅力を聞き
ました。

「まちライブラリーは、な
んでもできる場所。おしゃべ
りしたり、音楽を演奏してい
る横で勉強したりするなど、
同時にさまざまなことが行わ
れています。そのようなス
ペースってあまりないですよ
ね。最近は、中高生の利用も
多く、大学生が勉強方法や受
験について教える《学習相談
会》が行われています。学生

の交流の場にもなっています。
2016年、《まちライブラ
リー@千歳タウンプラザ》
がオープンしたとき、私はい
ち利用者でした。イベントや
サポーター会議に参加するう
ちに、いろんな方との出会い
があり、コミュニケーションの
面白さに気づきました。前
職を任期満了で辞めたあと、
本格的にまちライブラリーの
運営に携わるようになりました。
コロナ禍前は、まちライ
ブラリーで出会った仲間と、
好きな本について語り合うイ
ベントを企画・運営していま
した。コロナ禍で《人と出会
える場の大切さ》をあらため
て実感しましたので、新しく
できた《まちライブラリー
@ちとせ》でもイベントを再
開したいと思っています。
まちライブラリーはたくさ
んの方からの寄贈本で成り立
っています。現在の蔵書数は
約8千冊。以前ほど配架ス
ペースは多くないので、皆さ
ん厳選した本を寄贈してくれ
ます。ぜひ、まちライブラ
リーに足を運ん
でみてください。
思いもよらない
《本》や《人》と
の出会いがきっ
とあります。」



◀手書きの感想カード。思いが人をつなげます。

第25回



町内会ホームページや
LINEを活用した情報
発信に取り組む《ゆうま
い町内会》について紹介
します。
ゆうまい町内会は会員
世帯数が1000を超え
る市内最大規模の町内会
で、小さな子どもから高
齢者まで幅広い世代でに
ぎわっている地域です。
令和3年4月に町内会
のホームページを立ち上
げ、町内会たよりや回覧の
電子データ、行事案内など
を定期的に掲載するなど、
電子媒体を使った情報発信
に取り組んでいます。

ゆうまい町内会には、
会員が多く回覧板を回す
のに時間がかかるという
課題がありました。コ
ロナ禍で町内会館（ゆう
まいホール）を臨時閉館
するという情報を回覧板
よりも早く会員に伝える
ために、町内会ホーム
ページに閉館情報を掲載
して課題を解決したこと
が始まりました。
現在では、ホームペー
ジの情報が更新されると、町内
会のLINE公式アカウント
から会員に更新案内が送信さ
れる仕組みになっており、会
員はタイムリーに情報にア
クセスすることができます。
町内会長の佐々木和典さ
んは、「素早く情報を伝え
るためには有効な方法であ
り、電子版のほうが情報を
キャッチしやすい世代もい
るのではないかと思いま
す。」と話してくれました。
一方で、「何でも電子化
して利便性だけを追求すれ
ば良いとは思いません。あ
くまで町内会は人と人との
つながりが大事です」と考
えており、紙の回覧板も並
行して使用しているほか、
ごみ拾いや子ども向けのイ
ベントなど、昔ながらの町
内会行事を開催して地域の
交流の輪を広げています。
有効なICTの活用方法
として、皆様の町内会でもぜ
ひ参考に見てみてください。

ゆうまい町内会
ICTを活用して
素早く情報発信!



ゆうまい町内会
ホームページ